

順位	氏名（議席）	発言の要旨
3	関 明美（3）	1. 富士市観光PR大使「かぐや姫」の募集環境の改善と衣装の費用負担の公的支援について 富士市では、かぐや姫コンテストを長年にわたり実施し、選出されたかぐや姫クイーン及びかぐや姫の皆様には、本市の顔（富士市観光PR大使）として各種公式行事等で本市の魅力発信やイメージ向上に御尽力いただいている。 しかしながら、募集要領では、原則、振り袖での活動が基本とされ、その準備や維持管理費（購入・レンタル・手入れ等）は全て個人負担とされている。振り袖の着用・準備には数万円から数十万円規模の経済的負担が伴うのが現状であり、これが理由となって応募を断念せざるを得ない市民が存在することは、市民参加型の文化事業及び誰もが挑戦しやすい環境づくりの観点から大きな課題と捉えている。 富士市観光PR大使「かぐや姫」の活動は、個人の趣味趣向ではなく、市の公式PR活動であり、市が観光協会等へ補助金を交付して実施している事業である以上、応募者の経済的負担を放置することは、応募機会の不平等を生み出し、ひいては事業の持続可能性や質の確保を阻害する要因となり得る。 時代に即した持続可能な観光PR事業へと発展させ、多様な市民が応募しやすい環境を整えるため、市として当事者主体での見直しが必要と考え、以下伺う。 (1) 富士市観光PR大使「かぐや姫」の活動の位置づけと衣装の費用を個人負担としている現状への評価について ① 富士市観光PR大使「かぐや姫」の活動における市の役割と、衣装の費用を全額個人負担としている現状についての市の見解を伺う。 ② 高額な衣装の費用負担が応募機会の制限（参入障壁）になっているという認識はあるか伺う。 (2) 市の指定衣装・公式行事等における個人負担の現状について 市が関与する他の事業や富士市観光PR大使事業等において、指定の衣装の準備費用を個人負担としている事例があるか伺う。 (3) 個人負担を軽減するための仕組みを導入すべきと考えるが見解を伺う。 2. 富士市立中央病院の建て替え計画における浸水・地盤リスクの定量的評価と防災対策の徹底について 地域の災害拠点病院である中央病院の建て替えは、大地震や近年激甚化する豪雨災害時にも確実に医療機能を維持できる計画でなければならない。敷地のかさ上げや建物の免震化などのハード対策が検討されているものの、1000年に一度レベルの想定最大規模降雨時における周辺アクセス道路の浸水被害や、潤井川沿いという立地条件における地震・液状化リスクの定量的評価については市民から不安の声が上がっている。 事業着工を目前に控え、災害対策に万全を期す観点から、今一度、豪雨対策及び地盤リスクに関する具体的な数値を明確にし、実効性のある安全対策が必要であると考え、以下伺う。 (1) 想定最大規模降雨時における周辺道路の浸水・中央病院の孤立化リスクとアクセス対策について ① 敷地自体を約1.2メートルかさ上げする計画と承知しているが、想定最大規模降雨が発生した場合、中央病院に隣接する主要アクセス道路及び緊急搬送ルートにおいて、想定される最大の浸水深及び浸水が継続する

順位	氏名（議席）	発言の要旨
3	関 明美（3）	時間の試算数値はどのようなになっているか伺う。 ② 敷地内が無事であっても周辺道路の浸水により救急車の緊急搬送ルート、医療スタッフの参集及び医薬品等の搬入が遮断され病院が孤立化する恐れがある。緊急搬送ルートの整備状況や道路の高架化・かさ上げ等によるアクセス確保策について、市は具体的にどのような検証を行っているか伺う。 (2) 潤井川沿いの地盤調査データに基づく地震・液状化リスクの定量的示唆について ① 河川近接エリアには一般的に粘土層や砂質土が分布し地盤が増幅・液状化しやすいとされているが、実施したボーリング調査等に基づくN値（地盤の固さを示す指標）や液状化対象層の厚さ・危険度指数（PL値等）の具体的な調査数値をどう把握しているか伺う。 ② 大地震発生時における周辺地盤の側方流動や地盤沈下が、建物の基礎くい・埋設配管（上下水道管・ガス管等のライフライン接続部）へ与える影響について、定量的なリスク予測値（地盤の水平移動量、不同沈下量、曲げモーメント・せん断力、許容変位量）とその補強対策を伺う。